



協育



村山市立楯岡中学校

学校だより

令和8年度

6月2日号

文責 校長 加藤

前向きにチャレンジする楯中生

【5月1日（金）北村山長距離記録会（兼：県中学駅伝予選会）大躍進】

自主的に参加を希望した勇者たちが、限られた時間を使って、工夫しながら努力を積み重ねてきました。その中から学校代表となった男子6名、女子5名が仲間たちの応援やサポートを受けて「自分の精一杯」を出し切り、女子は総合優勝（学校統合後としては初優勝）、男子は総合第3位入賞を果たしました。心をつなぐ魂の走りとチームみんなが一つになっている姿に感動しました。優勝した女子チームは、10月3日（土）に行われる県大会に出場します。北村山代表として、前向きにチャレンジする姿を期待しています。

代表となって活躍した選手たち（○内の数字は学年）

【女子】 大泉 心夏さん③ ・ 園部 凜子さん③ ・ 齋藤 夢佳さん③
 笹原結衣那さん③ ・ 高橋 陽莉さん①

【男子】 荒木 怜人さん③ ・ 原田 陽希さん③ ・ 小関 斗真さん③
 矢口 蓮音さん② ・ 西山 威彪さん② ・ 早坂 蓮凰さん①



「1秒を削り出す」雨中の激走！

チーム楯中の「絆」は今年も強かった！

仲間とともに知恵と勇気を出し合った旅

【5月20日（水）～22日（金）3年：「修学旅行」】

3年生が2泊3日の行程で、東京・関東方面への研修の旅に出かけてきました。「My キャリア」のスローガンのもと、日常を飛び出し、新たな文化に触れ、視野を広げる旅です。国会議事堂など社会の公民分野と直接つながる研修、外国の方々と英語だけで会話し活動する研修、興味関心に応じたコース選択制（4コース）の研修などで見聞を広げました。さらに小グループ（18班編成）ごと、将来のキャリアにつながる研修を自分たちの手でつくり上げました。

本物に触れ、五感を震わせる驚きと感動の連続。これまで経験できなかった時間や空間にどっぷり浸る旅となりました。

TOKYO GLOBAL GATEWAYで全員が「体験型の英語学習」を満喫



やっぱり英語って大事



世界に一膳だけの箸づくりに挑戦



「夢の国」でのひとコマ

実行委員長として気づいたことは、「エネルギーの向け方」が良かったということです。楽しむときは存分に楽しみ、話を聞く場面で集中することや集合の場面では素早く行動することなど、メリハリをつけることができました。この3日間で、3年生全体が成長したと感じました。ついてきてくれた実行委員、3年生の仲間たち、先生方、学校での学びを積んでいた1・2年生に感謝したいです。そして、この旅に送り出してくれた保護者の方々に感謝の気持ちでいっぱいです。

実行委員長 緒方 奏人 さん

修学旅行で気づいたことは、集団行動での協力の大切さです。ぼくたちは当初、楽しい思い出をつくることばかりを考えていました。事前準備を進める中で、「ただ楽しむだけでは意味が薄れる」ということを学んで、「準備の意味」を考えていくようになりました。実際に旅行に行ってみて、新幹線の座席などを確認していなかったら、楽しい旅行にはなっていなかったと思います。これからも時間や事前確認を大切に生活していきます。

実行委員 斉藤 ひなた さん

修学旅行を通して、仲間の良さを改めて実感しました。バスの中ではガイドさんの話に積極的に反応し、場を楽しもうとする姿が見られました。また、時間を守ることに一度注意を受けると、次から全員が意識して行動できていました。そのおかげで、最後の集合時間に余裕ができ、駅の中でおみやげを買う時間をつくることができました。さらに、宿泊先での挨拶や整頓、お礼の手紙を書く行動など、感謝の気持ちを大切にできた旅となりました。

実行委員 押切 愛菜 さん

届いた・響いた「挑戦と成長」のメロディー

【5月31日（日）「吹奏楽部 第22回定期演奏会」】

恒例の定期演奏会が行われました。本校生徒、卒業生や保護者だけでなく、吹奏楽を愛する他校の中学生や地域の方々などの前で、クラシックやコンクールに向けた曲、そしてポップスなどアンコールを含め**全15曲**を見事に演奏し、大観衆を魅了しました。「**日頃の感謝の気持ちを伝えたい**」という思いが、メロディーや寸劇・ダンスパフォーマンスに豊かに表現されていました。会場には、感性を豊かにする幸せな時間が流れていました。昨年度のアンサンブルコンテスト東北大会出場に引き続き、各種コンクールで「東北大会出場」を目指す吹奏楽部。今後の活躍に期待しています。



挑戦し成長し続ける「チーム響」



アンコール「Sing Sing Sing」

会場に来てくださったみなさん、お手伝いをしてくださった先輩方、保護者のみなさま、そして市民会館のスタッフの方々など、たくさんの支えのおかげで定期演奏会を開催することができました。多くの支えがあったからこそ、部員全員がキラリと輝くことができたのだと思います。感謝の気持ちでいっぱいです。この感謝の気持ちをコンクールにぶつけて、目標である「東北大会出場」を成し遂げ、恩返ししたいです。

部長 丹野 琴絵 さん

今年度は葉山中学校吹奏楽部をゲストに迎えての定期演奏会でした。周りの方々の協力のおかげで、無事成功させることができました。3年生の役割である司会やソロパートなど、初めて経験することがありましたが、練習の成果を全て出し切って満足する演奏ができ、とても嬉しく思いました。これからは夏のコンクールに向けて、新たに練習がスタートします。この演奏会で実感した「保護者や地域の方々の支え」を胸に、感謝の気持ちを行動で示せるようにこれからも努力していきます。引き続き、応援をよろしくお願いいたします。

副部長 西塚 花菜 さん

今回の定期演奏会のため、私は自分の演奏を基礎から見直し、音一つ一つの細かなニュアンスに気をつけながら本番当日までの時間を大切にしてきました。ソロパートがある曲では、その練習の成果を発揮でき、自分の音楽として吹くことができました。支えてくださる保護者のみなさまや地域の方々への感謝の気持ちを忘れずに、これからも活動していきたいです。

副部長 相崎 友希 さん

「Active(アクティブ)」な心が響き合う活動

今年も「さわやかなあいさつ」を広げています。

生徒会役員が登校時に、生徒昇降口前で「あいさつ交流活動」を行っています。「笑顔であいさつ」「さわやかなあいさつ」「明るいあいさつ」の看板を持ちながら、交流を続けています。5月は新たに「あいさつビンゴ」を企画して、ゲーム性を盛り込みながら活性化を図りました。

あいさつは「今を幸せにする」だけでなく、将来社会に出たときに、人とのかわりの中で大事なスキルの一つです。これからも生徒同士の活動をとおして、あいさつの必要性について考える場面をつくり、一層さわやかなあいさつが行き交う学校であり続けたいと思います。ぜひご家庭や地域のみなさまからも、温かいお声かけをお願いいたします。



温かさと元気を注ぎ込む朝のあいさつ交流。今年は新企画「あいさつビンゴ」の工夫で、よりアクティブに。

【5月29日（金） 心を寄せ合った花の植栽活動】

今年度も楯中前の歩道に花苗の植栽を行いました。花苗は村山産業高校の生徒たちが愛情を込めて育てたものです。花苗などの費用については、三和技術さんからご支援いただきました。

中学生が高校生や社会で活躍する大先輩の力をお借りして、「世代を超えた地域貢献活動」に取り組むところに大きな意味があります。そして、活動したからこそ、この地域の美化や保全活動が「自分事」になっていくものです。みんなでこの地域を美しくする、よりよいものにするという思いを結集する価値ある取り組みを今後も継続していきたいと考えています。

楯中前をお通りの際は、ぜひ足を止めてご覧になってください。



「ふるさとの美しさは自分たちの手で」 感性をみがく活動を頑張っています。

お力添えをいただきましたみなさま、本当にありがとうございました。